

議員提出議案第22号

中川堤防の耐震化促進を求める意見書

上記の議案を提出する。

平成26年10月17日

提出者

6番	米川 大二郎	24番	平田 みつよし
25番	筒井 たかひさ	29番	上村 やす子
30番	三小田 准一	31番	中村 しんご
32番	荒井 彰一	33番	上原 ゆみえ
34番	出口 よしゆき	35番	安西 俊一
39番	米山 真吾		

葛飾区議会議長 秋家 聡 明 殿

中川堤防の耐震化促進を求める意見書

本区は川に囲まれた地域であり、水害に対する備えは本区にとって重要な課題である。しかし、本区の中央を流れる中川においては、七曲の部分での護岸整備がまだ半分以上未整備の状態である。

昨年度改正された本区の地域防災計画では、東京湾北部地震の想定において、区内の大部分が液状化危険度の高い地域となっており、危険度の低い地域を大きく上回っている。当然、中川沿岸地域も液状化危険度の高い地域となっており、護岸の耐震化は、本区にとって喫緊の課題といえる。

こうした状況の中、東日本大震災の際には北上川や久慈川などの東北・関東地方の河川において堤防が崩れた例もあることから、東京都は、平成24年12月に新しい整備計画を作成した。この整備計画によれば、中川の護岸の耐震整備については、完成期限が平成33年となっている。

しかし、想定される首都直下型地震の確率から見ても、中川の護岸の耐震化は、区民の命と暮らしを守るうえでの優先課題のひとつであり、早急な対策が必要である。

よって、本区議会は政府及び東京都に対し、中川堤防耐震化の整備計画を前倒しして、整備を急ぐことを強く求めるものである。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。